

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年10月31日

計画の名称	国土強靭化に資する災害に強い道路の構築											
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）											重点配分対象の該当 <input checked="" type="checkbox"/>
交付対象	湯沢市											
計画の目標	湯沢市国土強靭化地域計画に基づき、災害に強い道路を構築する。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	611	A	611	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A + B + C + D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値		
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値
	令和2年	令和4年	令和6年				
1	防雪柵整備により、安心安全な冬季交通を確保する。 防雪柵設置対策率=対策完了延長 / 防雪柵設置延長 × 100 (%)	60%	79%	100%			
2	流雪溝整備により、円滑な交通確保を図る。 流雪溝設置対策率=対策完了延長 / 流雪溝設置延長 × 100 (%)	84%	89%	100%			
3	落石危険個所整備により、安全な通行路の確保する。 落石危険個所対策率=対策完了延長 / 落石危険延長 × 100 (%)	42%	80%	100%			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	<input checked="" type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）		全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況					
		一體的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
道路事業	A01-001	道路	雪寒	湯沢市	直接	湯沢市	市町村道	雪寒	湯沢工業団地線ほか	防雪柵整備 L=3.33km	湯沢市					141	-				
	A01-002	道路	雪寒	湯沢市	直接	湯沢市	市町村道	雪寒	西愛宕南10号線ほか	流雪溝整備 L=0.81km	湯沢市					100	-				
	A01-003	道路	一般	湯沢市	直接	湯沢市	市町村道	改築	市道山居野・殿上線ほか	落石防護網設置	湯沢市					120	-				
	A01-004	道路	一般	湯沢市	直接	湯沢市	市町村道	改築	道の駅おがち線ほか	道路整備 L=0.396km	湯沢市					250	-				
												小計				611					

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	定量的指標に基づき、計画策定主体（湯沢市建設部建設課）で事後評価。
事後評価の実施時期	令和7年10月
事業効果の発現状況	
定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況	1.防雪柵が整備された区間については、冬期間の吹きだまりや視界不良等に対する効果が発揮され、安心安全な交通が図られた。 2.流雪溝が整備された区間については、冬期間の道路幅員が確保され、円滑な交通確保が図られた。 3.落石防護網が整備された区間については、降雨や融雪期の落石が減少し、安全な通行路の確保が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
本計画については、要対策箇所が残っていることから計画を更新し、令和7年度以降も継続して整備を実施する。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	
2	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	
3	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	